

新潟県立病院医学会誌投稿規定

1. 資格：原則として投稿者は新潟県立病院医学会会員に限るが、会員以外からの論文についても審査の上、掲載できる。

2. 掲載論文：本学会誌の論文の種別は原著、症例報告、総説、解説・診断、検討症例、読者の声、私の工夫、および編集委員会が認めたものに限る。投稿論文は新潟県立病院の発展に寄与しうるもので、他誌に発表されていないものに限る。

3. 執筆要項：用語は原則として和文とする。著者名は直接論文に携わった者に限定する。

(1) 原稿の書き方

a) 原稿はワープロを用い、A4縦長用紙に横書きし、1行30字で30行を1枚におさめる。半がな、常用漢字、現代かなづかいを用いる。ただし、固有名詞や一般に用いられている学術用語はその限りではない。

b) 度量衡単位はcm、mm、 μm 、 cm^2 、ml、l、g、mgなどCGS単位を用いる。

c) 外国人名、適当な和名のない薬品名、器具および機械名、または疾患名、学術的表現、科学用語については原語を用いる。大文字は固有名詞およびドイツ語の名詞の頭文字に限る。

d) 専門用語は各用語集に準拠すること。また、その略語を用いても良いが、はじめに完全な用語を書き、以下に略語を用いることを明らかにする。

(2) 原稿の様式、および枚数制限

a) 原稿の構成：

和文の題名、所属、著者名、内容抄録、索引用語 (key words)、本文、文献、写真、図、表の順とする。原稿には通し頁番号をふる。1枚目には和文の題名、所属、著者名のほかに、論文の種別 (原著、症例報告、検討症例など) と別冊請求先を明記する。2枚目 (ないし3枚目) には内容抄録、索引用語を記載する。本文は内容抄録とは別に始める。

なお標題の英訳及びローマ字つづりの著者名、所属の英文名を添付する。

b) 内容抄録：

原著、症例報告などは内容抄録を500字以内にまとめ、原則として以下のような小見出しをつける。原著の小見出しは、目的、方法、成績、結論とする。症例報告では、背景、症例、結論とする。総説、解説・診断では論文の内容に応じて適宜設定する。なお、検討症例、読者の声、私の工夫は内容抄録を付けない。

c) 索引用語：

論文の内容を暗示する英語の単語 (Key words) を5語以内で表示する。原則として、第1語は対象、第2語は方法、第3語以下は内容を暗示する単語とする。

key words 例：

- ・肺穿刺吸引細胞診－カルチノイド4例の細胞像と組織像－
Lung - Aspiration - Carcinoid - Morphology
- ・乳腺癌についての1考察
Breast cancer - Morphology - Review
- ・喀痰中に卵巣明細胞腺癌細胞が見出された稀な1例
Clear cell adenocarcinoma - Cytology - Sputum - Metastasis - Case report

d) 文献：

主要のものに限る。次の形式をまもり、引用順に並べる。文献表記はバンクーバー・スタイルに、誌名略記は日本医学図書館協会編：日本医学雑誌略名表、およびIndex Medicusに準ずる。

[雑誌の場合] 著者名 (和名はフルネームで、欧文名は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで6

名まで表記し、6名をこえる場合はその後を“・ほか”、“et al”と略記する)。 標題 (フルタイトルを記載)、 雑誌名 発行年 (西暦); 巻: 頁~頁。

[単行本の場合] 著者名、 標題、 発行地: 発行所、 発行年 (西暦)。 なお、引用が単行本の一部である場合には 標題の次に 編者名、 単行本の 標題を記し、 発行年の後に: 頁~頁。 を記載する。

e) 原著、総説、解説・診断など:

原著の本文は原則として、諸言、方法・材料、結果、考察、結語を簡潔に記載し、本文、文献を含め原稿用紙25枚以内とする。図・表 (写真を含まず) は、14×21cmを限度とし10枚以内とする。総説、解説・診断も原則として原著に準じた枚数制限とする。

f) 症例報告:

本文は原則として、緒言、症例、臨床経過、細胞所見、病理所見、考察などを簡潔に記載し、文献を含め原稿用紙15枚以内とする。図・表 (写真を含まず) は14×21cmを限度とし5枚以内とする。

g) 検討症例:

本文は緒言、症例、臨床経過、細胞所見、病理所見、考察などを簡潔に書き、文献は重要なもののみ3編までとする。写真は2枚以内 (組合わせは各々2枚以内)、図表は計1枚までとし、本文と文献を合わせ、400字詰め原稿用紙4枚程度までとする。

h) 読者の声:

学術論文に該当しないもので、本誌掲載論文に関する意見、本会の運営や活動に関する意見などを投稿する。表題、著者名、文献を含め400字詰め原稿用紙2枚以内とし、原則として写真、図、表を用いることはできない。

i) 私の工夫:

治療、診断、処方、技術に関する、ちょっとした工夫、あるいは知っていると便利な情報の提供を目的とする。表題、著者名、文献を含め400字詰め原稿用紙4枚以内、写真、図、表は1枚以内とする。

j) 図、表:

図、表は図1 (英文論文の場合は Fig. 1)、表1 (英文論文の場合は Table1) などのようにそれぞれの番号をつけ [顕微鏡写真や肉眼写真などは図 (英文論文の場合は Fig.) とする)、簡単なタイトルと説明を付記して、まとめて添付する。

本文中には図、表の挿入すべき位置を明示する。

4. その他

- (1) 論文の審査: 投稿論文は編集委員会の審査により採否を決定する。審査にあたっては査読制をとる。査読者は編集委員から、依頼する。
- (2) 掲載料は無料だが、別冊については1~25部、26~50部、51~100部の単位で実費印刷とする。但し、総説のみ25部まで無料とする。なお、カラー写真印刷代は著者負担とする。別冊およびカラー印刷は著者校正の際申し込みをする。
- (3) 発行後の原稿は原則として返却しない。

原稿は下記宛にお送り下さい。

県病医学会事務局